

第2学年 技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

題材名：家族構成に適した商品の選択

指導者：

- 1 日 時 : 令和4年10月6日(木) 第5校時
- 2 場 所 : 2年2組教室
- 3 学年・学級 : 第2学年2組(38+2名)
- 4 題 材 名 : 家族構成に適した商品の選択

(1) 題 材 観

中学校学習指導要領家庭分野の内容C「消費生活・環境」は、「課題をもって、持続可能な社会の構築に向けて考え、工夫する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。」と明記されている。

本題材は、内容Cの「私たちの消費生活」の(1)「金銭の管理と購入」のイ「物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫すること。」に、既習内容であるB「衣食住の生活」の食生活分野「調理のための食品の選択と購入」を導入として組み合わせたものである。この題材を通して、さまざまな年代で構成された家族に適した商品選択において、学習した知識を実践的に活用できる技能を身に付けることを目的に設定した。

(2) 生 徒 観

本学級の生徒は、4月実施のハイパーQU調査においては、学級生活満足群は64%(全国41%)であり、全国より高い数値を示していた。学級生活不満足群は19%(全国28%)であった。また、ソーシャルスキル面の結果では、「配慮」のスキル34.1%(全国31.8%)、「かかわり」のスキル31.8%(全国29%)と全国より高い数値を示していた。また、全体的にグラフの上部に集中しており、「配慮」と「かかわり」の両方のバランスがとれている傾向にあるが、不安定感を示す生徒もいる。

2学年で実施した「買い物に係わるアンケート」では、次の通りの結果であった。

【2学年 買い物に係わるアンケート】 ※ () 内は2年2組

	いつもしている	ときどき、手伝い	家族にまかせている
① あなたは、家族分の食料品を 買い物していますか。	0% (0%)	41% (34%)	59% (66%)
② あなたは、家族分の日用品を 買い物していますか。	6% (0%)	37% (12%)	63% (88%)

生活に係わる商品の購入については、ときどき家族の手伝いとして買い物に同行することはあっても、主体的に自ら判断して購入する行動はしていない。

よって、グループで相互に意見を交流し結論を導き出す学習活動を通して、主体的に生活に係わる意欲の向上と実践力を育成したい。

(3) 指導観

本学級の生徒の実態に即して、日常生活で想定される場面を設定してグループ活動で行うことを通して、家族の一員として実生活において商品の選択と購入に対して興味関心を持ち、自分と家族の消費生活へ積極的・主体的に関わろうとする意欲と態度を向上させるように指導する。

また、個人思考と集団思考を組み合わせ、グループで役割分担して意見交流しながら、商品選択という課題解決に向けたプロセスの体験を仕組み、表示から商品情報を得て、商品選択の判断ができるように実践力と技能向上を図る。

(4) 本題材において育成しようとする資質・能力

本校で育成しようとする資質・能力は以下の4点である。

【知識及び技能】			
【思考力、判断力、表現力等】	① 伝える力	② 問題解決能力	
【学びに向かう力、人間性等】	③ 協働する力	④ 公共心	

この中から、本単元で育成しようとする資質・能力は次の1点に重点を置くものとする。

【思考力、判断力、表現力等】 ② 問題解決能力

・グループで調べたことを基に検討して、条件に合った課題解決を図る。

5 単元【私たちの消費生活】の目標と評価規準

○単元の目標

消費者としての自覚を持ち、商品の適切な選択や購入、計画的な金銭の管理について理解し、実践する態度を育成する。

【単元を貫く問い】

持続可能な社会を構築するにはどうしたらよいだらう。

○単元の評価規準

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
① 物資・サービスについて理解している。	① 自分に合った金銭管理の方法を考え、工夫している。	① 商品（物資・サービス）の選択について、課題の解決に主体的に取り組み、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
② 売買契約の仕組みについて理解している。	② 消費者トラブルを未然に防いだり解決したりするための方法を考え、工夫している。	
③ 購入方法や支払い方法の特徴を理解している。	③ 商品（物資・サービス）の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
④ 計画的な金銭管理の必要性について理解している。		
⑤ 消費者トラブルの事例とその対応について理解している。		
⑥ 商品（物資・サービス）の選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。		

6 指導と評価の計画 全5時間 (本時は5/5)

◎ 単元観・生徒観・指導観を踏まえ、評価の場面や評価方法を計画する。

次	学習内容 (時数)	評価					
		知 技	思 判 表	主 体	評価規準	評価方法	資質・能力 (評価方法)
1	消費者としての自覚 (1)	◎			〔知技〕 ①物資・サービスについて理解している。 ②売買契約の仕組みについて理解している。	ワークシート	
2	購入方法と支払方法 (1)	◎			〔知技〕 ③購入方法や支払い方法の特徴を理解している。	ワークシート	
3	バランスよく計画的な金銭の管理 (1)	◎	○		〔知技〕 ④計画的な金銭管理の必要性について理解している。 〔思判表〕 ①自分に合った金銭管理の方法を考え、工夫している。	ワークシート	
4	消費者トラブルとその対策 (1)	○	◎		〔知技〕 ⑤消費者トラブルの事例とその対応について理解している。 〔思判表〕 ②消費者トラブルを未然に防いだり解決したりするための方法を考え、工夫している。	行動観察 ワークシート	②問題解決能力 (行動観察) (ワークシート)
5	何を考えて決めますか～意思決定のプロセス～ (1) 【家族構成に適した商品の選択】	○	◎	○	〔知技〕 ⑥商品 (物資・サービス) の選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 〔思判表〕 ③商品 (物資・サービス) の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 〔主体〕 ①商品 (物資・サービス) の選択について、課題の解決に主体的に取り組み、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	行動観察 ワークシート	②問題解決能力 (行動観察) (ワークシート)

7 本時の展開

(1) 本時の目標

情報を集め、条件（家族構成）に合わせて適切な商品選択ができる。

(2) 観点別評価規準

◎ 商品選択の判断する時、多様な視点で考察している。

評価方法：行動観察，ワークシート

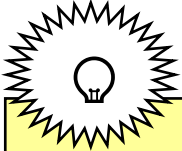
(3) 育成したい資質・能力の評価基準

資質・能力	評価基準（例）
②問題解決能力	<p>A 条件に合わせた商品選択の理由を，収集した情報を根拠にして具体的に説明し，商品選択することができる。</p> <p>B 条件に合わせた商品選択の理由を，収集した情報を根拠に説明し，商品選択することができる。</p> <p>C Bを満たしていない。</p>

(4) 準備物：ワークシート，商品（トイレットペーパー），補助資料

(5) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項（・） （努力を要する生徒への指導の手立て◆）	評価規準 ○教科の事項 ☆資質・能力 （評価方法）
導入	<p>課題の設定</p>		
	<p>○商品選択のポイントを知る。 （10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的（何のために） ・時間（いつ） ・必要（だれにとって，どれくらい） ・情報（長所と短所） 	<p>【本時の目標】条件（家族構成）に合った適切な商品選択にチャレンジしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート配布 ・食品選択を例にして，「目的」の意味を理解させる。 ・文房具を使って，「時間・必要・情報」の意味を理解させる。 	

展 開	<p>○班活動の内容を知る。</p> <p>①説明を聞く。(7分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品(トイレットペーパー) ・条件(家族構成) ・役割分担 <p>【商品情報収集】</p> <p>品質, コストパフォーマンス, その他の付加価値など</p> <p>【クロームブックで調べる】</p> <p>幼児と高齢者にとって適切な 商品の情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の流れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助資料配布 	<p>○活動内容が理解できている。</p>
	<p>②分担を決める。(2分)</p> <p>③情報収集をする。(15分)</p> <div style="text-align: center;">  <p>【主体的・対話的な学びの時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●集めた情報を担当者が説明する。 ●班内で情報共有して, 条件(家族構成)に合った商品(トイレットペーパー)を選択しワークシートにまとめる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べて得た情報は, ワークシートに書き留めさせる。 ◆ワークシートへの記入方法を指示する。 	<p>○商品の選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。</p> <p>☆②問題解決能力 集めた情報を整理し, 論理的に表現して, 多様な視点から解決策を考えることができる。</p> <p>(行動観察) (ワークシート)</p>
	<p>④班ごとに情報共有して, 商品を選択する。(10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商品を選択する根拠を具体的に考えさせる。 	
ま と め	<p>○まとめと感想の記入(5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活で実践することの大切さを理解させる。 	

(6) 板書計画

<p>【本時の目標】条件(家族構成)に合った適切な商品選択にチャレンジしよう。</p>		
○選択ポイント	○条件(家族構成)	○班活動の流れ
<ul style="list-style-type: none"> ・目的 ・時間 ・必要 ・情報 	<ul style="list-style-type: none"> ・7人家族 ・4人家族 ・2人家族 ・1人家族 	<ul style="list-style-type: none"> ①役割(実物情報4人, クローム情報2人) ②情報収集 ③情報共有 ④商品選択(ワークシートにまとめる)